

平成18年度（2006年度）日本留学試験

日本語

(120分)

I 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見ないでください。
2. この問題用紙は、56ページあります。
3. 解答は、解答用紙に鉛筆（H B）で記入してください。
4. 問題用紙の余白は、メモに使ってもいいです。
5. 監督者の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
6. 試験が終わっても、この問題用紙を持ち帰ることはできません。
7. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じように記入してください。

II 解答上の注意

1. 問題は、記述・読解・聴解・聽読解の四つに分かれています。
各区分の解答は、監督者の指示にしたがって始めてください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語の文章を書いてください。
読解・聴解・聽読解の解答は、問題の文または音声の指示にしたがって、
解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

受験番号		*					*						
名 前													

記述問題

説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。
解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで400字程度で書いてください（句読点を含む）。

- ① 日本の小学校では、昼ごはんをみんなで一緒に食べます。

<A>ある学校では、学校が有料で用意した、同じものを食べます。

別の学校では、生徒がそれぞれ持って来たものを食べます。

両方の良い点や両方の良くない点を挙げて比較し、<A>とのどちらがいいと思うか、書いてください。

- ② <A>政治家は、年をとったら辞めるべきだ

政治家は、年をとっても辞める必要はない

という考え方があります。

両方の良い点や両方の良くない点を挙げて比較し、<A>とのどちらがいいと思うか、書いてください。

—— このページには問題はありません。——

読解問題

説明

読解問題は、問題用紙に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢1，2，3，4の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

問 1

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

旅行先などで、愛らしい子供たちに出会ったり、その土地らしい風情のある服装をした人を見かけたりすると、思わずカメラを向けシャッターを切ってしまう。家族や友人に土産話をしたり、数年後その旅を思い出したりするとき、それは大切な一枚になるにちがいない。

では、自分が写される側の場合はどうだろう。見ず知らずの人間からいきなりレンズを向けられたらどうするか。にっこり笑える人もあれば、その無神経さに不快感を抱く人もいるだろう。

シャッターチャンスは一瞬のもの、いちいち人に断っていてはいい写真を撮り損ねるという人もいる。しかし良いカメラマンは、まず話しかけ、相手がうちとけたときに見せた表情を、旅の記憶としてカメラにおさめるのではないだろうか。

旅先で出会った人々の心に無頓着であれば、写真に残った旅の思い出はひとりよがりのものになる。

1. 旅先の写真は、その土地らしいものを撮るとよい。
2. シャッターチャンスは、注意していないと逃してしまう。
3. 良いカメラマンは、初対面の人間ともすぐうちとける。
4. 人を写すときは、写される人の気持ちにも配慮すべきだ。

問 2

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

いきなり要点を切り出すのをためらう気持ちがわれわれにはある。まず前置きをして、つまりマクラをふって、それから本題に入る。そのいい例が手紙。外国語ではのうけから用件に入るように、日本人はまず時候のあいさつをしたあと“さて”といって本文になる。はじめから用向きをのべるのは略式、失礼である。

…（略）…

いちばん大切な部分を最後へすえ、あとは余韻でつつむ——これが日本の文章、日本のことばの流儀である。

それで美しい表現になることもないではないけれども、なにを言いたいのか、読む人にわからないおそれもある。世の中が忙しくなるにつれて、終わりまで読んで、よく考えてみないとわからないような文章につき合ってくれる人はすくなくなると思わなくてはいけない。

（外山滋比古『文章を書くヒント』P H P 研究所）

1. 日本語の手紙では、初めに用件を書くのが一般的だ。
2. 文章を書く上で大切なのは、最後に余韻をもたせることだ。
3. 伝統的な日本の文章の流儀は、現代の生活に合わない。
4. 日本語でも外国語でも、いきなり用件を書くのは失礼だ。

問3

次の文章の（ A ）に入るものとして最も適当なものはどれですか。

漫画の中で、次のようなシーンを見ることがある。

ある人物が、何かに熱中しながら、歩いたり走ったりしている。熱中するあまり、足元の地面が途切れ、自分が空中に留まっていることに気づかない。やがてそれに気付いた瞬間、その人物は落下を始め、地面に激突する。

現実では、その人物が自分のおかれた状況を知っていようがいまいが、自然法則に従つてただ落ちていくだろう。

しかし、この漫画の中では（ A ）

この現実とのギャップと、法則が働き始めた時の登場人物の慌てぶりにおかしさが生まれるのである。

1. 自然法則は登場人物が自由に変えてもかまわない。
2. 自然法則を忘れている間はその法則が適用されない。
3. いかなる状況においても自然法則がそのまま働いている。
4. 何ごとも自然法則とは正反対の法則に従って動いている。

問 4

次の文章で、筆者が下線部「大きな声を出さない、手を叩かない」ようにしている理由として最も適当なものはどれですか。

ぼくが（主催する）イベントでひとつ気をつけているのは、大きな声を出さない、手をたたかれないということですね。

毎年、カヌー作り教室とかログハウス教室とかしているのですが、スタッフが前に出て手をパンパンと叩きながら「はーい集まってください」と言ってたんです。ところが、その瞬間、全国から自主的に集まってきたはずの人たちが、指示待ちの子どもになっちゃうんですよ。「次ごはん何時？」みたいなね。イベントが終わって帰るときに、参加した人たちも強制労働やらされたみたいな感じになっている。

だから、そういうやり方はやめました。いまは、最初に大きな声で参加者を集めたりしないで、だらだらーっと始まるイベントにしたんです。

(清水國明「自然は子どもの感性を目覚めさせる」「あそびの森」第11号)

1. 参加者が大きな音に驚いてしまうから
2. 参加者が自主的でなくなるから
3. 参加者がなかなか集まらないから
4. 参加者に労働を強いてしまうから

問 5

次の文章の（ A ）に入るものとして最も適当なものはどれですか。

がんの治療には、増殖したがん細胞を減らすために抗がん剤という薬が使用される。この抗がん剤を（ A ）与えることで、治療成果をあげている病院があるそうだ。

この治療法は、活動している細胞のほうが薬の影響を受けやすいという性質を利用したものだという。健康な細胞は、昼間は活発に活動し、夜は活動がおさまる。一方、がん細胞は昼も夜も活動を続けている。そこで、この治療法を用いると、健康な細胞への影響を抑え、がん細胞だけを集中的に攻撃することができるのだそうだ。

1. 昼
2. 夜
3. 昼も夜も
4. 短期に集中して

問 6

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

ストライキおよび事故等による交通機関停止の場合の授業措置

ストライキおよび事故等により交通機関の一部が停止しても、大学はできるだけ授業を実施する方針ですが、山川線・谷井線がともに全面ストップした場合に限り、次の措置をとります。

運転停止の解除・復旧時刻	授業の取り扱い
午前 6 時までに解除・復旧の場合	平常通り授業を行います
午前 6 時から午前10時までに解除・復旧の場合	午前中は休講、午後第 3 時限より授業を行います
午前10時を過ぎても解除・復旧されない場合	全日休講とします

※なお、「交通機関の復旧」とは、一部でも動き始めたことをいいます。

1. 午前 9 時まで山川線と谷井線が全線止まっていた場合は、午前中の授業は休講になる。
2. 午前11時まで山川線の一部が止まっていた場合は、午前中の授業は休講になる。
3. 午前12時まで山川線と谷井線が全線止まっていた場合は、午後から授業を行う。
4. 午後 2 時まで山川線の一部が止まっていた場合は、授業が全部休講になる。

問 7

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

現在、日本の総人口における高齢者の割合が急速に増加している。その一方で若者の人口の割合は減り続け、高齢者を介護する側の数の不足が問題となってきている。

そこで人間の代わりとなるロボットを開発し、高齢者の介助に役立てようという研究が進んでいる。この研究に対しては、介護の現場の人から、機械にそれらを任せても心のこもった介護はできないのではないか、というような批判も出た。だが、機械だからといって一概に排除するのではなく、進んだ工業技術をうまく取り入れれば我々の社会はより豊かになるはずだ。

確かに、人間の目で高齢者の様子を観察して介護することは大切だ。人の手のぬくもりは癒しとなるだろう。しかし、介護される側にしたら、気兼ねのいらないロボットの方が頼みやすい場面（例えばトイレに行きたいときなど）もあるはずだ。もちろん、介護する側の労力軽減は言うまでもない。

1. ロボットに頼らず、介護は温かい人間の手ですべきだ。
2. ロボットの技術開発が進めば、介護者は必要なくなる。
3. ロボットでも、介護に利用できるところは利用すべきだ。
4. ロボットを導入すれば、介護の人工費を節減できる。

問 8

次の文章の（ A ）に入るるものとして、最も適当なものはどれですか。

かなり人生を生きたおかげで、私はマイナスにもプラスがあり、プラスにもマイナスがあることを充分にまなんだ。たとえば半年のあいだ私は病気がちだったが、この肉体的なマイナスのおかげで自分の人生や他人の苦しみを察することができるようにになった。かえりみると病身でなければ私は傲慢な男でありつづけていたかもしれません。私はある面で臆病だが、この臆病さゆえに仕事の準備などに慎重であることもたしかだ。マイナスにもプラスがありプラスにもマイナスがあるのである。

だから私は自分の能力や性格にコンプレックスを持っている若い人には、その欠点やコンプレックスをプラス面に変えることを教えていた。口下手な人間がいくら上手にしゃべろうとしても困難である。「口下手」という欠点に悩んでいるなら（ A ）。

（遠藤周作『春は馬車に乗って』文藝春秋）

1. 「聞き上手」に変ればよい
2. 「話し上手」に変ればよい
3. なるべく人に会わなければよい
4. なるべく人と話すようにすればよい

問 9

次の文章の下線部「地球環境保全の出発点」が意味するものとして、最も適当なものはどれですか。

地球環境問題を考えるとき、いつも*アマゾンの森林を基準にして考えることにしている。アマゾンの森林を残せということは、ブラジル国民にとって、どんなに迷惑なことかと思う。もし、あれが日本の一^{はんせん}部だったら、とうの昔に農地にし、灌溉をし、農業収入を上げ、湿地を乾燥させて住みやすくしていたにちがいない。しかし、こんなことしていては、地球がだめになってしまうということに私たちは気づいた。生物種の保存のために、森林を残そう、本川に手を加えるのはやめようと。もちろん、これは途上国にとっては迷惑な話である。しかし私たちは、地球の安定のために、それから未来の人間にも選択の余地を残すために、少しでもそれを実行したいと思っている。それが地球環境保全の出発点である。

(中西準子『水の環境戦略』岩波書店)

* アマゾン：南米のブラジルとその周辺国にあるアマゾン川流域の熱帯雨林地帯。

1. 森林を農地にして住みやすい環境にすること
2. 今ある自然をそのまま残すこと
3. 森林の開発と環境保全を並存させること
4. 途上国に迷惑をかけないこと

問10

次の文章の「異文化コミュニケーション」の考え方として、合っているものはどれですか。

日本の社会も多民族多文化の傾向が増し、異文化コミュニケーション・スキルの重要性は認められるようになってきた。しかし、今でも、握手の仕方や名刺の交換の仕方など表面的に取るに足らないことだと言う人もいる。実は、握手のときの姿勢、視線、表情、手の握り方、手の振り方、使うことばは重要である。しかし、これらの表に現れた事柄をその奥にある態度と価値観に結びつけて習得しなければあまり意味がないことも事実である。

異文化コミュニケーションでは握手を表面的な現象として捉えない。握手とはその人の態度と価値観を反映したコミュニケーション行動なのである。この点を十分に把握しなければならない。そうすることによっておじぎと握手の類似性と相違点が明確になり、自分が相手に何を伝えているのか、相手が自分に何を伝えようとしているのか理解することができる。

(八代京子他『異文化トレーニング——ボーダレス社会を生きる』三修社)

1. 握手と名刺交換の仕方をまず覚えるべきだ。
2. 正しい握手の方法を覚えることが大切だ。
3. 握手という行為の意味を理解すべきだ。
4. 握手とおじぎを比較することが重要だ。

問11

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

私たちは、脳の学習の過程は、ある特別な時間にだけ起こることだと思いがちである。小学校に入ると、国語、算数、理科、社会といった「勉強」の時間があり、それ以外に遊びの時間がある。何となく、脳が学習するのは、「勉強」の時間だけだと思っている人は多いだろう。だから、学校を終えて、社会人になって何年か経ったときに、「そういえば最近全然勉強していないな」と、あせりを覚えたりする。勉強していないから、脳が全然進歩していない、と思いこんでしまう。

しかし、実際には、脳は、それが有機的な組織として生きている限り、常に学習し続けている。いわゆる「勉強」のときだけでなく、休み時間も、遊びのときも、学習し続けている。それどころか、ぼんやりと考え事をしている時や、おしゃべりをしている時、ゴロ寝をしている時にさえ、学習し続けているのである。

(養老孟司・茂木健一郎『スルメを見てイカがわかるか!』角川書店)

1. 脳の学習には、常に「勉強」が欠かせない。
2. 脳は、「勉強」の時間以外は学習していない。
3. 「勉強」しても、脳が学習するとはかぎらない。
4. 脳は、「勉強」していない時も学習している。

問12

次の文章の（ A ）に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

親鳥がひなにえさをあたえているところを、どこかで目にしたことがあるだろうか。その際、ひなは口を大きくあけてうるさく鳴く。これは一見、おなかをすかせたひながえさを求めて鳴いているように見えるが、実はそうではない。ひなは生まれつき親のくちばしの色に反応して、口をあけて鳴くようになっているのだ。つまり、（ A ）。事実、黄色に赤い点のついたくちばしを持つ親鳥のひなは、黄色い画用紙に赤い点を書いたものを見せても、ピーピー鳴きだす。

1. えさが見えないと、ひなは口を大きくあけないのだ
2. ひなにはえさがあるかどうかは問題ではないのだ
3. 親鳥がえさをくわえていなければ鳴かないのだ
4. 親鳥がえさをくわえているかどうかが大切なのだ

問13

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

現在、地下鉄やトンネル内など坑内での女性労働は労働基準法で禁じられているが、この就業制限を2007年には撤廃しようという動きが進んでいる。女性の就業を一律に禁ずるこの法律は「男女雇用機会均等法」に反する女性差別として、経済団体などから改正を求める要望が以前から出されていた。

この法律は、石炭産業が盛んだった1947年、過酷な労働に従事する女性が多かった中で母体を保護する目的で作られた。しかし、技術の進歩とともに坑内の労働環境は改善され、今ではこの就業制限も時代遅れのものとなっている。

法律が撤廃されても、「女性が坑内に入ると山の神が怒る」という迷信は残るかもしれない。だが、今後坑内で働く機会の増える女性技術者の活躍によって、「迷信」など打破してほしいものだ。

1. 科学技術が進んでも、昔からの迷信を無視してはならない。
2. 労働環境が改善されても、女性に過酷な労働をさせてはならない。
3. 労働環境を改善して、石炭産業をもっと盛んにすべきだ。
4. 迷信など気にせず、女性の働く場を拡大すべきだ。

問14

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

ホタルは昼間見ると何の変哲もない黒い虫だが、夏の夜、光を放ちながら飛び交う光景は幻想的である。

ホタルの発光は、実は交尾の相手との交信手段である。メスの発する光を頼りにオスが近づいてきて交尾する。発光パターンはホタルの種類によって異なり、自然界においては種の異なる相手とは交尾しない。しかし、ある種のメスは、別の種の発光パターンを真似ることでその種のオスをおびき寄せ、食べてしまうという。

このような話を聞くと、美しさの陰にある生命の営みの奥深さと自然の厳しさに思いを馳せざるにはいられない。ただきれいだと思って眺めていたその光に、畏敬の念さえ覚える。自然科学の知識は情緒や夢を失わせるという側面もあるだろうが、美しい光景にまた別の世界を見ることを教えてくれもあるのである。

1. 自然科学の知識は、自然の営みに対する我々の見方を変えることもある。
2. 自然科学の知識は、人の心の豊かさや夢を奪うこともある。
3. 自然の美しさに気を取られると、科学的な見方ができなくなる。
4. 自然界の奥深さは、科学だけでは説明できないこともある。

問15

次の文章で、筆者はなぜ「重要なキーワードとなるのは、『ヒューマン ファクター』だ」と述べていますか。

航空界では、かつては事故が起きると、ほとんどパイロット・エラーで処理されていた。しかし、パイロットがエラーを起こしたにしても、それを引き起こした機械系、環境系、さらには経営系、行政系の要因を洗い出して対策を立てない限り、根本的な再発防止対策にならない。その考え方は、1970年代までに欧米諸国の航空界で確立された。

…（略）…

人間のエラーをこのようにシステムの構造の中でとらえる時、重要なキーワードとなるのは、『ヒューマン ファクター』だ。エラーという言葉には非難・攻撃する意味がまつわりつくが、ヒューマン ファクターという用語は、責任問題を論じるより、事故をもたらした諸々の要因の中で、人間（業務遂行にかかわった様々な立場の人々）がどのようにかかわったのかを、まず明らかにしようという考え方がこめられている。

（柳田邦男『言葉の力、生きる力』新潮社）

1. 事故の関係者を非難・攻撃しないことが大切だから。
2. 人が絶対に過ちを犯さないようにすることが大切だから。
3. 人も事故の要因の一つとして分析することが大切だから。
4. 事故を起こした人の責任を追及することが大切だから。

問16

次の文章の内容を最もよく表しているものはどれですか。

十九世紀半ばから二十世紀初頭にかけて、免疫学にたいへんな勃興期^{ほっこうき}が訪れました。感染症は微生物によって引き起こされるもので、さらに、一度感染した動物は生き残った場合、抵抗性を獲得することがあるということを*パスツールが発見して、免疫学の発展がはじまったのです。じつはその百年前に*ジェンナーが天然痘の予防のために種痘をするという発見をしていましたが、そのときは、病気自体が微生物で起こるという概念がなかったために、予防接種自体の行為はあっても免疫学としては発達しませんでした。ですから、免疫学の発展のはじまりは、パスツールがもたらしたものでした。パスツールの次に功績が大きかったのは、結核菌を見つけた*コッホです。コッホは、感染症は微生物が起こすもので、治ったのに再度病気が起こり、そのときは軽症で治ったという動物や人の血清中には、その病気を予防する抗体というものができている、ということを発見しました。

(安保徹『免疫革命』講談社インターナショナル)

*パスツール：19世紀のフランスの化学者・細菌学者

*ジェンナー：18～19世紀の英国の医者

*コッホ：19～20世紀のドイツの細菌学者

1. 免疫学とはどういうものか
2. 免疫学が生まれてきた過程
3. 免疫学で行われる実験の例
4. 免疫学における抗体の働き

問17

試着した服を買わせるための戦略として、次の文章で述べられているやり方はどれですか。

婦人服売り場の店員によくお似合いになりますといわれても、たいていの女性は話半分に聞いていて、次から次へと服を取り替えてあきれるほどの数の服を試着する。これは、お似合いになりますという言葉が、本当に似合うということのシグナルになっていないことを、女性は戦略的に感じ取っているからである。この場合、店員がターゲットにすべきは本人ではなくて、いっしょについてくる友人や配偶者であるはずで、その人々に対し惜しまず労力を費やすべきだ。それは、普段その女性を見ている人に、似合っていると無理なく言わせることのほうがより強い*シグナリングの効果があるはずだからだ。

(梶井厚志『戦略的思考の技術』中央公論新社)

*シグナリング：自分の立場をより好ましいものにするために、戦略的に相手にシグナル(合図)を送ること。

1. その服が一番似合うと納得させるために、女性客に他の服も試着させる。
2. なぜその服が一番似合っているのか、女性客に具体的に説明する。
3. 女性客の連れに、その服が女性客に似合っていると思わせる。
4. 連れの意見ではなく、女性客の好みをよく聞いてから試着させる服を選ぶ。

問18

次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

しばしば、儒教や仏教や、それらと「習合」して発達した神道や、あるいは江戸時代の国学などが伝統思想と呼ばれて、明治以後におびただしく流入したヨーロッパ思想と対比される。この二つのジャンルを区別すること自体は間違いないし、意味もある。けれども、伝統と非伝統というカテゴリーで両者をわかつるのは重大な誤解に導くおそれがある。外来思想を摂取し、それがいろいろな形で私達の生活様式や意識のなかにとりこまれ、文化に消しがたい刻印を押したという点では、ヨーロッパ産の思想もすでに「伝統化」している。たとえ翻訳思想、いや誤訳思想であるにしても、それなりに私達の思考の枠組を形づくって来たのである。

(丸山真男『日本の思想』岩波書店)

1. 伝統思想とは、ヨーロッパ思想と対比されるものだ。
2. ヨーロッパから取り入れた思想も、今や伝統思想と言える。
3. 伝統思想である儒教や仏教も、外来の思想だ。
4. 江戸時代の伝統思想が、我々の思考を形づくっている。

問19

次の文章の（ A ）に入るものとして最も適当なものはどれですか。

木は人間くさい材料である。いま1,400年経った法隆寺の古いヒノキの柱と、新しいヒノキの柱と、どちらが強いかと聞かれたら、「それは新しいほうさ」と答えるに違いない。だがその答えは正しくない。

なぜなら木は伐り倒されてから200～300年までの間は、圧縮強さや*剛性がじわじわと増して、二、三割も上昇し、その時期を過ぎて後、緩やかに下降はじめるが、その下がりカーブのところに法隆寺材が位置していて、新材よりもなお一割くらいも強いからである。

バイオリンは古くなると音が冴えるというが、それはこの材質の変化で説明できる。用材の剛性が増すとともに音色がよくなるのである。したがって音色がよくなるのはある時期までで、その後は次第に元に戻っていくだろうことも想像にかたくない。

こうした木の強さの変化していく様子はいかにも人間くさい。人間の骨が幼児のときは弱いが、（ A ）のと似ているからである。

(小原二郎『木の文化をさぐる』日本放送出版協会)

*剛性：外からの力に対する、物の変形しにくい性質。

1. 成長するにつれて次第に強さを増し、衰えることなく維持できる
2. 成長とともに強くなり、その後は管理の仕方次第で強度が変わる
3. 年をとるにつれて強くなり、やがて脆くなっていく
4. 年月とともに、わずかずつ太さや強さを増し続ける

問20

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

生命は海の中で誕生したと考えられています。そして五億年くらい前、海の中にいた生命が大陸の上に進出してきました。大陸が生命の住める環境に変化し、そのニューフロンティアに出ていったわけです。生命は新しく住める環境（ニューフロンティア）があれば、そこに挑戦して進出するという特質をもっています。地球の上に住む我々がほかの天体に行こうとすることは、これはある種、生命そのものが誕生以来持っている非常に強い特質によるともいえるのです。生命がほかの生物との競争に勝って生き延びるために、だれもいないところへ出でていくのが戦略上最も有利な方法です。我々は人間圏をつくって生きる点でほかの生物とは違う存在ですが、ニューフロンティアを求めるという意味では、生物の根源的な部分を引きずっているところが面白いと思います。

（松井孝典『宇宙人としての生き方』岩波書店）

1. 人は人間圏を作っているので、ニューフロンティアを求める事はない。
2. 他の生物との競争に勝てない生物は、誰もいないところへ出て行くしかない。
3. 人がほかの天体に行こうとするのは、生物としての根源的な特質による。
4. 新しい環境を目指すという特質を備えている点で、人は他の生物と違う。

聴解問題

説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題用紙には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

1番の前に、一度、練習をします。

— × モ —

— × モ —

- × モ -

聽読解問題

説明

聽読解問題は、問題用紙に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポーン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポーン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

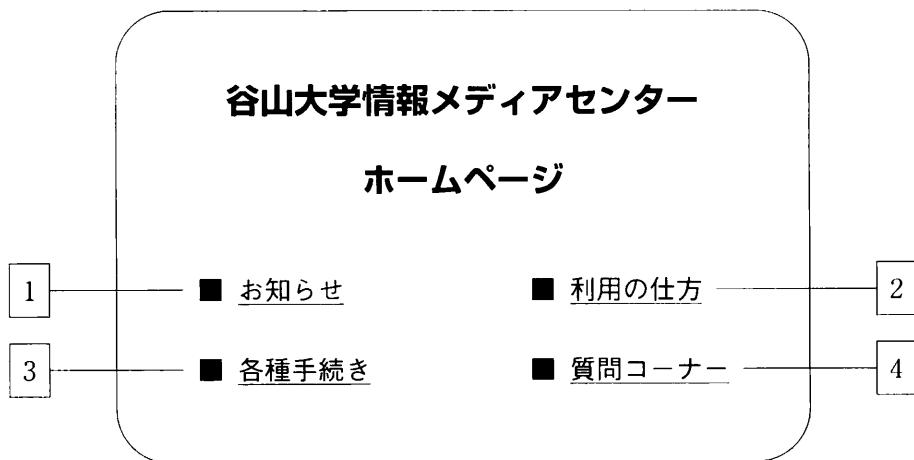
選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、聽読解の解答欄にマークしてください。

1番の前に、一度、練習をします。

聽読解問題

練習

学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。



1 番

男子学生と女子学生が掲示板を見ながらインターンシップについて話しています。この女子学生はどこに申し込むことにしましたか。

◆ 経営学科 夏のインターンシップのお知らせ ◆

以下の通り、経営学科では夏のインターンシップを行います。

希望者は、申し込み用紙に記入の上、志望理由書(1200字程度)を添えて
5月中に松本研究室まで提出すること。

社名	業務内容	研修時期
ABCソフトウェア	企業図書館における情報サービスの拡充	7月下旬
山田特許事務所	特許出願等知的所有権に関する戦略立案	8月中
東西電機	パソコンのユーザー行動分析	7、8月中随時
タナカ住宅販売	広告会社と連携した販売促進	7、8月中旬の 2週間(随時)

※ 条件等、詳細は研究室で資料閲覧可

2番

女子学生と男子学生がノートテイカー募集の案内を見ながら話しています。この女子学生が申し込むとき特別にすることは何ですか。

ノートテイカー募集

経済学部ではノートテイカーを募集しています。ふるってご応募ください。

【業務内容】 火曜日3時限目におけるノートテイク

【募集人数】 3名

【応募資格】 ・本学学生で、上記の時間帯に授業を受講していない者

・4月15日（土）9時～12時の「ノートテイカー講習会」に
参加できる者

▶ただし以前講習会を受講した人は、申し込み時に所定の手
続きを行なえば、今回の受講を免除されます。

【申し込み】 4月3日～14日の間に経済学部事務室で本人が申し込むこと

【問い合わせ】 経済学部事務室 078X-123-XXXX

1. 自分の授業時間を変更する。
2. 講習会の受講許可をもらう。
3. サークル活動を休む。
4. 講習会免除の手続きをとる。

3 番

女子学生と男子学生が、女子学生の作成したアンケート用紙について話しています。
女子学生はこのあと、どの部分を修正しますか。

外食についてのアンケート

外食産業についてレポートを書きます。以下のアンケートにご協力ください。

1 年齢：_____歳 ご職業：_____ 性別： 男 女

2 (1) あなたは外食をよくしますか。(該当するものに○をつけてください)
1. よくする 2. ときどきする 3. あまりしない 4. ほとんどしない

3 (2) その理由を教えてください。

4 (3) どんな店をよく利用しますか。いくつでも書いてください。
(例：ファーストフードの店、ファミリーレストラン など)

ご協力ありがとうございました。

4 番

女子学生と男子学生が掲示板を見ながら、スピーチ大会について話しています。
この男子学生はどのスピーチ大会に参加しますか。

1.

スピーチ大会**「留学生の生活環境」**

日時：8月×日(土)13時～15時

場所：国際交流会館

参加資格：留学経験者

応募締切：6月×日(金)

2.

スピーチ大会**「世界平和の環境は今」**

日時：10月×日(土)10時～12時

場所：メディアセンター

参加資格：18歳以上の人

応募締切：9月×日(金)

3.

スピーチ大会**「環境を守る」**

日時：7月×日(土)13時～15時

場所：県民ホール

参加資格：18歳以上の人

応募締切：5月×日(金)

4.

スピーチ大会**「環境を考える」**

日時：8月×日(土)13時～15時

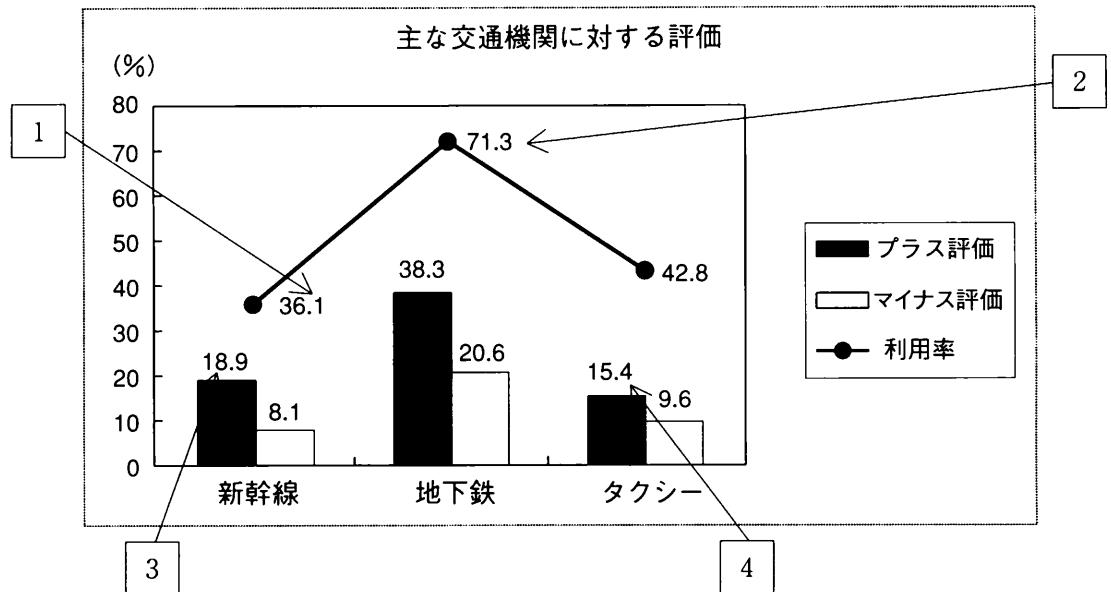
場所：○○大学講堂

参加資格：環境学科学生

応募締切：7月×日(金)

5 番

男性と女性がアンケート結果を見ながら話しています。この男性は、グラフの中のどの項目の数字について、今後増える可能性があると言っていますか。



(国土交通省編『平成15年版観光白書』 国立印刷局)

6番

本屋で学生が店員と話しています。

店員はこの学生にどの本を薦めますか。

1.

「パソコンお役立ちガイド」

著者 橋田 守

出版社 東西出版

定価 ¥2,800

◆画像や写真の管理、音楽CDの聞き方など、パソコンでエンターテイメントを楽しむ方法を紹介。

2.

「ソフトの裏技教えます」

著者 林 公明

出版社 相田出版

定価 ¥2,000

◆マニュアルには出ていないソフトウェアの便利な使い方満載！

3.

「あなたもできるインターネット」

著者 前田玲子

出版社 南北出版

定価 ¥2,500

◆Webページの見方や、メールの送り方など、必要な操作や用語を基礎から詳しく紹介。

4.

「パソコントラブルQ & A」

著者 上村治夫

出版社 二宮出版

定価 ¥3,000

◆パソコンがおかしい！
そういう時にはこの本をどうぞ。
対処方法がすぐにわかります。

7 番

男子学生と女子学生が食生活と環境についての資料を見ながら話しています。
この二人が話していることに最も関係が深いのは、資料の中のどの項目ですか。

食生活と環境の関係について考えよう！

環境にやさしい食生活のヒント

あなたの食生活の環境度チェック！ 当てはまるものに□をつけましょう。

- 1 無農薬野菜を買う

一人一人の意識で環境が変わります。

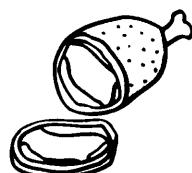


- 2 国産・地域の食材を使う

輸送にもエネルギーが使われています。

- 3 できるだけパックしていない食品を買う

パッケージはゴミになりやすいですね。



- 4 肉より穀物や豆類を選ぶ

肉1キロには数倍から10数倍の飼料が使われています。



8番

大学研究室に送られてきたFAXの文書を見ながら、助手が先生に電話をしています。
この先生はあることを思い違いしていたようです。思い違いの内容はどれですか。

FAX 送信

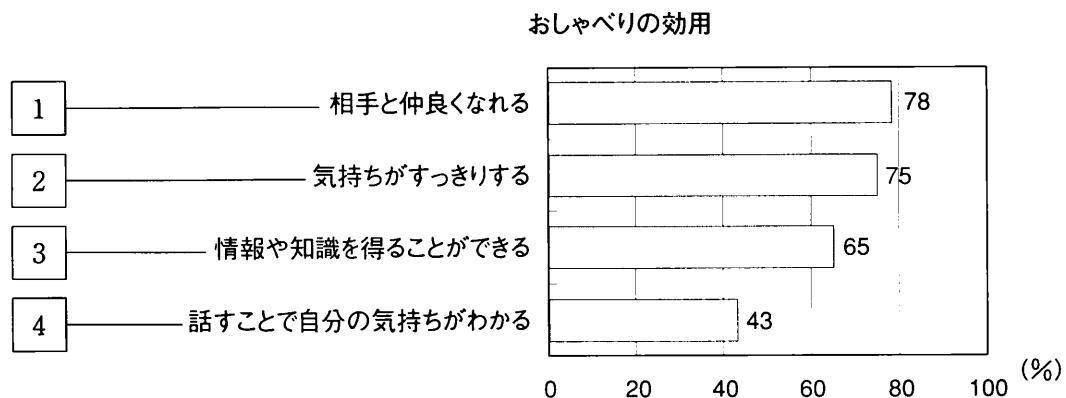
送信年月日	4月30日(月)11時
送信先	政経大学 木村 信介 教授
発信元	東亜大学 法学部政治学科研究室 高橋 和子 〒161-0023 東京都目黒区目黒1-4-X TEL : 03-1232-XXXX FAX : 03-1232-XXXX
件名	ご講演について（確認）
通信枚数	(本票を含めて) 1枚
通信内容	標記の件について、確認させていただきます。 来たる5月5日(土)の御講演の件なのですが、5日の午後4時までに、当研究室へまずおいでいただきたく、お願い申し上げます。 講演会場へは、研究室の者がご案内申し上げます。 どうぞよろしくお願ひいたします。

1. 講演は4日だと思っていた。
2. 東亜大学にFAXするのだと思っていた。
3. 東亜大学の研究室に寄る必要はないと思っていた。
4. 誰かが大学から自宅へ迎えに来ると思っていた。

9番

女子学生が資料をもとに「大学生のおしゃべり」について発表しています。このあと、この女子学生はどの項目について詳しく話すと言っていますか。

資料 1



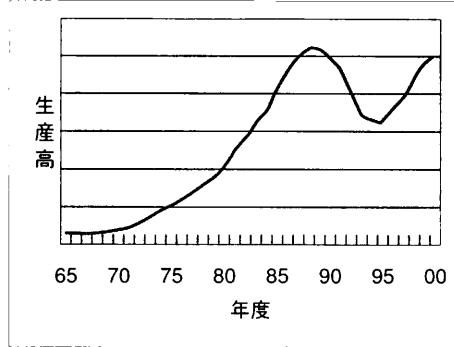
(川上善郎『おしゃべりで世界が変わる』北大路書房 を参考に作成)

10番

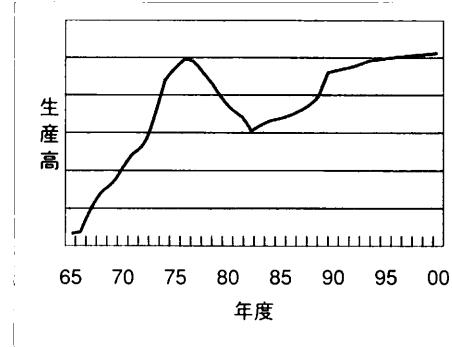
ある会社の人が、自社の農業機械の生産高がどのように変化してきたかについて説明しています。この説明の内容をグラフで表すとどのようになりますか。

A社の農業機械製品生産高の推移

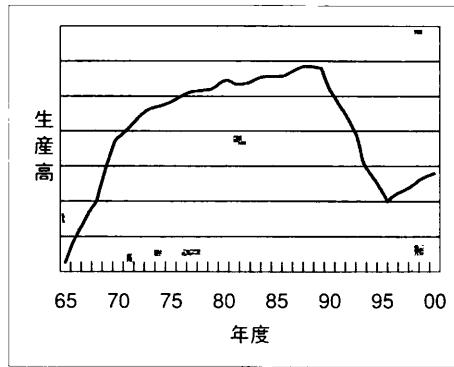
1.



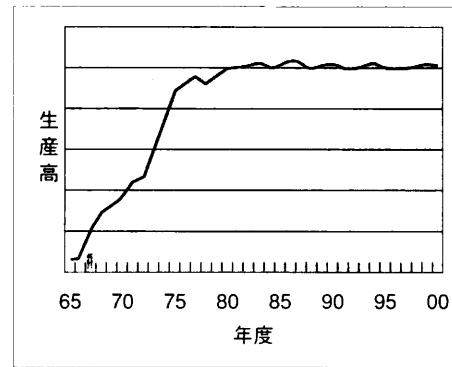
2.



3.

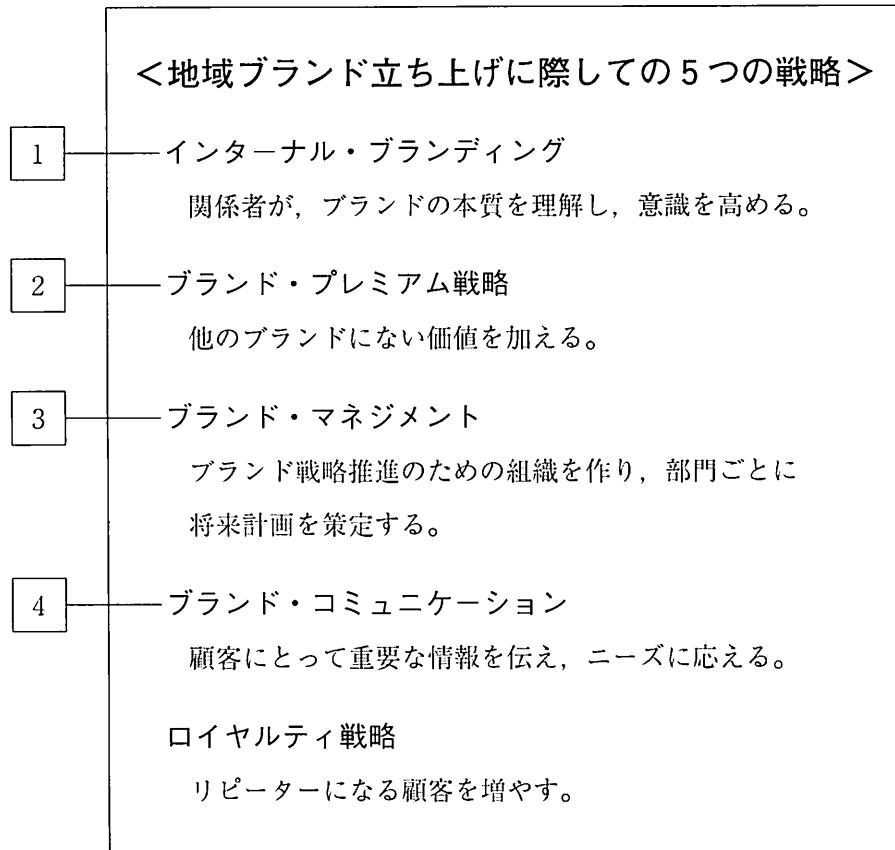


4.



11番

先生がマーケティング論の講義で「地域ブランド」について説明しています。この先生は、資料の中でどの項目がいちばん重要だと言っていますか。



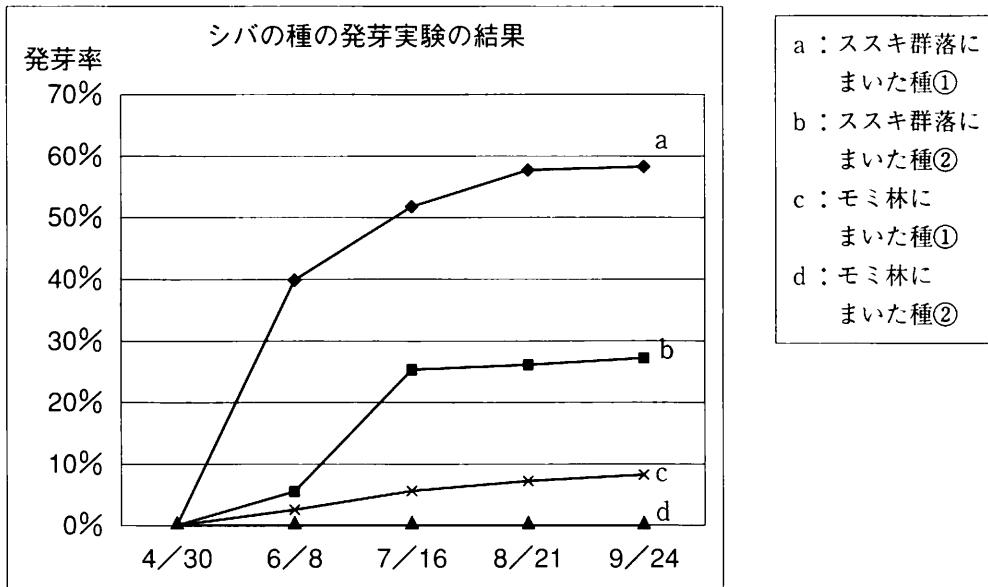
(田中章雄「地域ブランド開発とマネジメント」『ガバナンス』2005年6月号

ぎょうせい を参考に作成)

12番

先生が、ある植物の種の発芽実験について説明しています。

先生がこのあと言おうとしていることは何ですか。

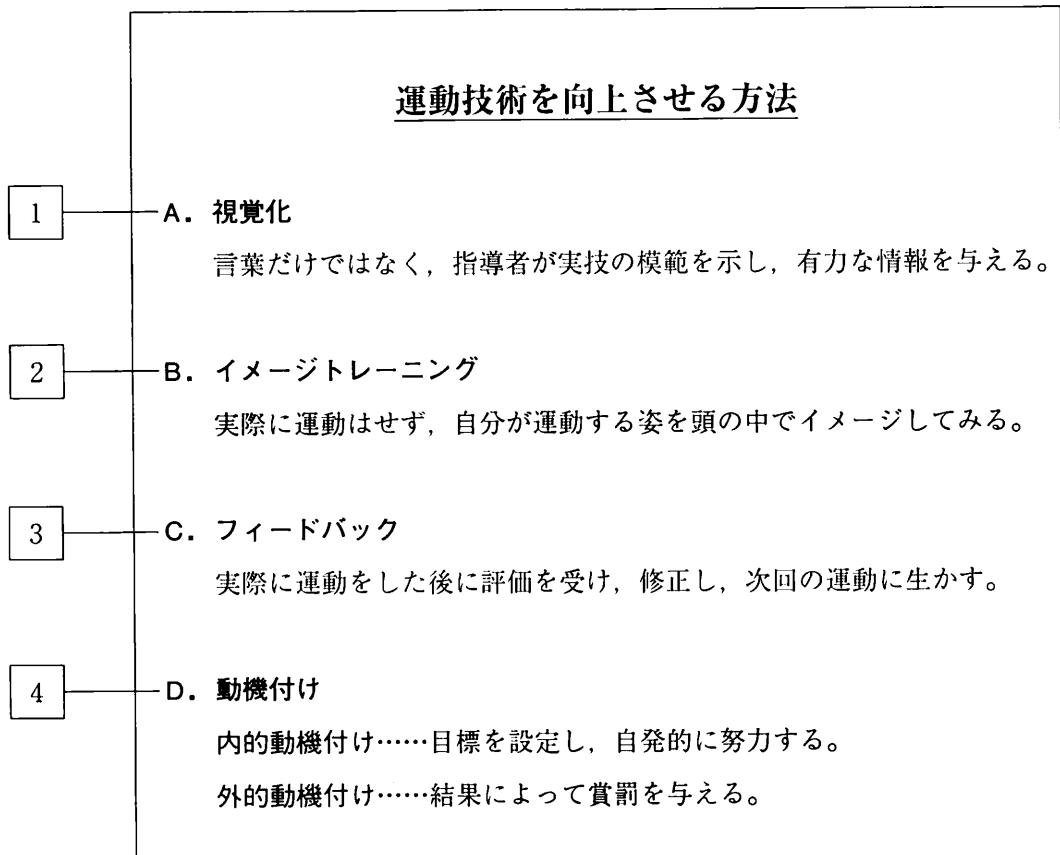


(上田恵介『種子散布〈助け合いの進化論2〉動物たちがつくる森』筑地書館 を参考に作成)

1. まかれた場所が同じであれば、種①のほうが種②より発芽しやすい。
2. まかれた場所が同じであれば、種②のほうが種①より発芽しやすい。
3. 種①も種②も、明るい場所にまかれたものの方が発芽しやすい。
4. 種①も種②も、暗い場所にまかれたものの方が発芽しやすい。

13番

先生が講義で運動を上達させる方法について話しています。この先生は今、どのポイントについて話していますか。



(岡本研二「運動技術の指導」日下裕弘編『健康スポーツの科学』大修館書店 を参考に作成)

14番

先生がN P Oの定義について資料を見せながら説明しています。この表の3行目には、どのような組み合わせで○と×が入りますか。

NPO(Non-Profit Organization)の条件

- ・非営利であること
- ・民間組織であること
- ・公益を図る目的を持つこと

	非営利である	民間組織である	公益を図る目的を持つ
株式会社	×	○	×
地方公共団体	○	×	○
（公財）日本文化振興会			

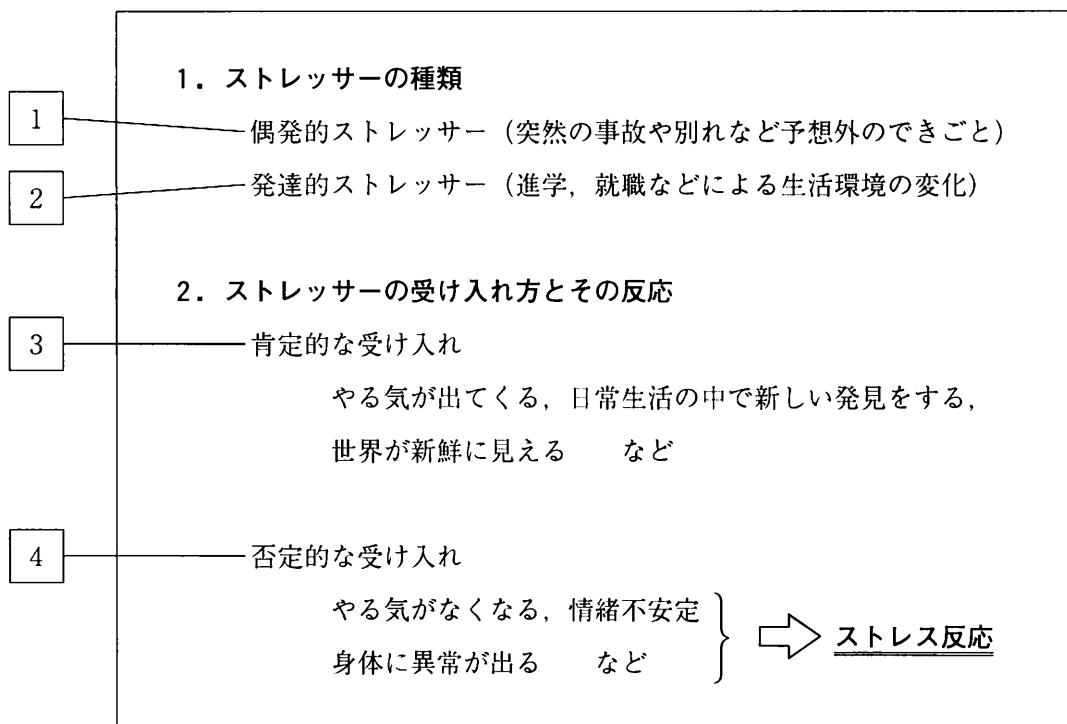
⋮ ⋮ ⋮ ⋮

1. ○ ○ ○
2. ○ ○ ×
3. ○ × ○
4. × ○ ○

15番

心理学の授業で、男子学生がストレスについて調べたことを発表しています。この男子学生が挙げた例は、資料の中のどの部分にあたりますか。

発表の資料

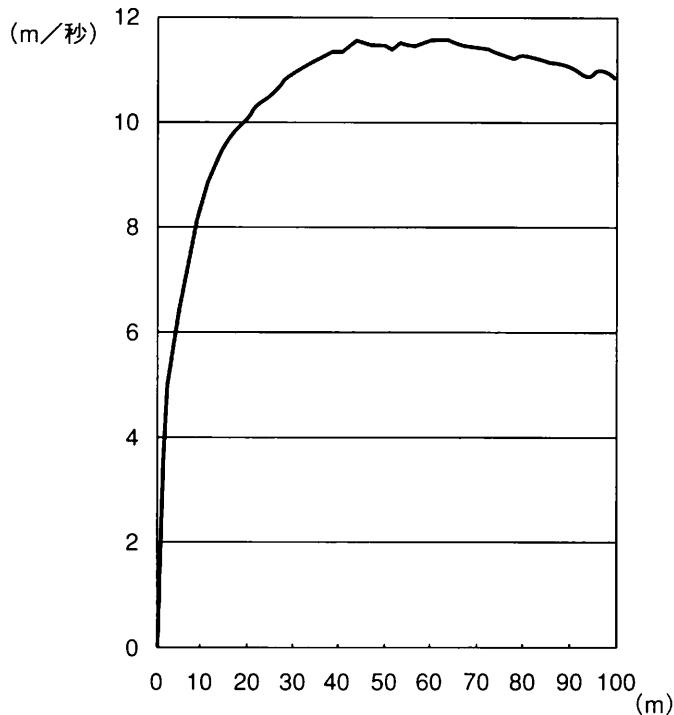


16番

先生が、ある陸上選手の100メートル走の走り方について分析して説明しています。

先生は、この選手が後半減速しないためにはどうしたらいいと言っていますか。

A選手のスピード曲線



(小田邦彦「Wonder in Life 不思議いっぱい」朝日新聞2005年7月31日 を参考に作成)

1. 時間をかけて最高速度に達するようとする。
2. 加速をもっと早い段階で行うようとする。
3. スタート動作を素早く行うようとする。
4. もっと速い最高速度を出すようとする。

17番

授業で、先生が情報のデジタル化について話しています。

この先生が挙げる「デジタル化の問題点」は、資料のどの点と関連していますか。

情報論 I

1. 情報のデジタル化

1－1. 情報のデジタル化の利点

1

(1)扱える情報量が増大した

アナログ形式に比べ、はるかに大量の情報をやり取りすることができる。

2

(2)情報開示先のコントロールが可能に

ある情報を、誰に開示し、誰にしないかをひとつひとつ決めることができる。

3

(3)情報表現形式を混在させることが可能に

文字・画像・映像・音楽など、従来は異なる媒体で表現されていたものをまとめて伝達することができる。

4

(4)情報を再利用する可能性が増大した

デジタル化された情報は転送・複写・加工をしても劣化しないため、二次利用・三次利用の可能性が広がる。

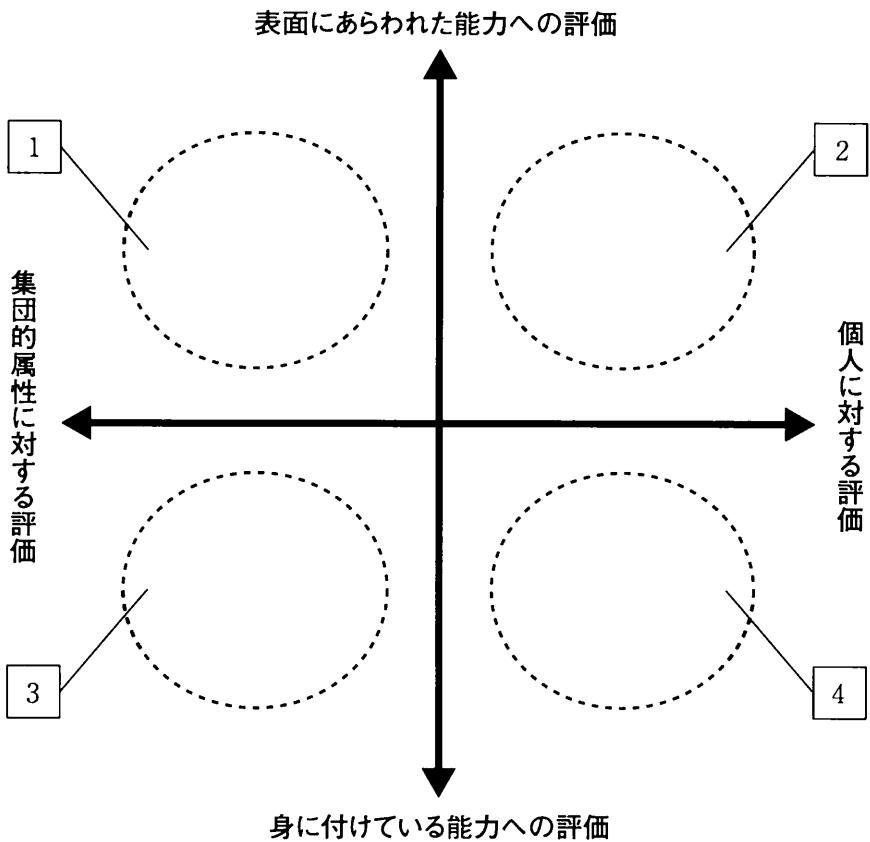
(村井純「インターネットのコミュニケーション」関口一郎編著

『入門セミナー・現代コミュニケーション①コミュニケーションのしくみと作用』大修館書店

を参考に作成)

18番

先生が、社員に対する賃金の決め方について話しています。この先生が最後に紹介する企業の例は、図のどの部分に位置しますか。



(熊沢誠『能力主義と企業社会』岩波書店 を参考に作成)

19番

異文化コミュニケーション学の授業で、先生が人と人の間の距離について話しています。この先生は、この話に続けてどのようなことを言いますか。

対人関係と距離

距離区分	説明	使用される音声の特徴	北米における実測値
密接距離	親密な者同士が、秘密の事柄を話し合う時の距離	ささやき声	0~0.46m
個体距離	相手に手が届くくらいの距離	やや小さめの声	0.46~1.22m
社会距離	一般的な会話が行われる距離	普通あるいはやや大きめの声	1.22~3.66m
公衆距離	ビジネスや、より正式な場でとられる距離	大きな声	3.66m以上

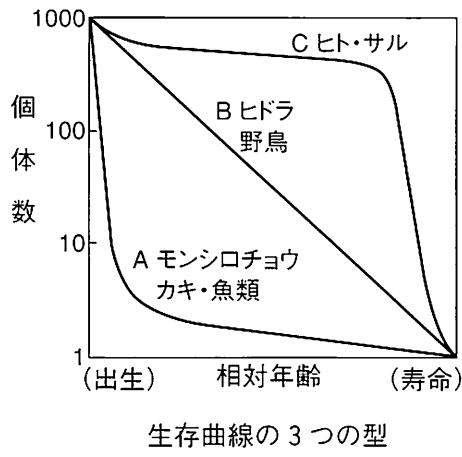
(池田理知子『異文化コミュニケーション・入門』有斐閣 を参考に作成)

- 日本人について、各距離区分での対人距離を実測する。
- 各距離区分で使用される声の大きさについて調査する。
- 4つに区分することが本当に適切かどうかを確かめる。
- 表の数値が正確かどうか再調査によって検証しなおす。

20番

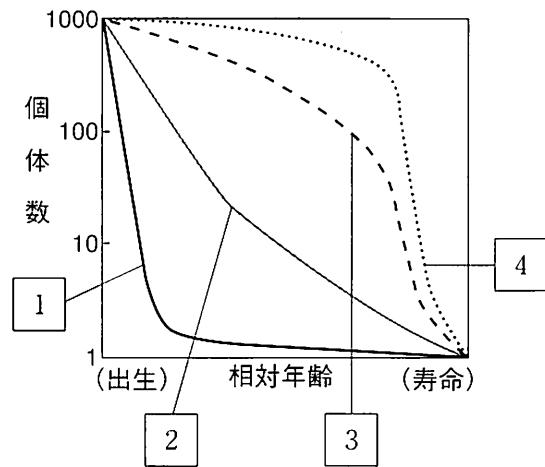
先生が生物学の授業で生存曲線について説明したあと、学生に質問します。学生はこの質問に何と答えればいいですか。

図1



生存曲線の3つの型

図2



(小林弘『新生物IB・II』数研出版 を参考に作成)

この問題用紙を持ち帰ることはできません。

● 聴解問題スクリプト

(Track 4)

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

(Track 6)

1番 新入生のオリエンテーションで、大学職員が、履修に関する新しい制度について説明しています。大学がこの制度を導入した理由は何ですか。

本学では今年度から新しい制度を導入しました。一年間に履修できる単位数に制限をもうけたのです。以前ですと、1・2年生の間に単位を多めに取って、3・4年生の授業を少なくする、ということもできました。しかし、大学で単位を取るということは、学んだ内容をきちんと理解している、ということです。それには、講義だけではなく、自宅での予習・復習が欠かせません。自宅で学習する時間を十分に確保しようとすれば、一年間に取得可能な単位の数はおのずと限られてきます。そこで、この制度を導入することにしたわけです。

大学がこの制度を導入した理由は何ですか。

1. 学生が各科目の内容を十分に学ぶ時間をとるため
2. 講義に出席することをより重視したため
3. 1・2年生の段階で単位を取りやすくするため
4. 学生の学習上の負担を減らすため

Track 7

2番 テレビで司会者が文章の書き方について作家にインタビューしています。

この作家は、趣味で文章を書く人が、文章を上達させるためにはどうすればよいと言っていますか。

司会者：文章を書くことが仕事ではなく、趣味である人も多いと思います。このような人たちが文章の上達を目指すには、どのようにすればよいでしょうか。

作家：そうですね、趣味で書くということには、締め切りがないし、長さも自由ですよね。それでは、上手になりにくいでしょうね。

司会者：自由であることが、かえって良くないんですか。

作家：ええ。文章を書く上で一番大切なことは、話のポイントを絞り、その他のことは捨てて、内容を洗練させることです。そこで例えば、一時間で原稿用紙2枚の作文を書く、というように課題を課しましょう。そうすることで、自分の体験や調べたことなど、多くの情報の中から最も大切なことだけを選び取る訓練ができるでしょう。

この作家は、趣味で文章を書く人が、文章を上達させるためにはどうすればよいと言っていますか。

1. 誰かに見てもらって内容を洗練させること
2. 書く分量や書くことにあてる時間に制限を設けること
3. 自分の調べたことを全部書くこと
4. 書きたいことについての情報をよく調べること

Track 8

3番 女子学生と男子留学生が、話をしています。この男子留学生は新しい引っ越し先のどんな点がいいと言っていますか。

女子学生：来月で大学の寮を出るんだって？ 引っ越し先、見つかった？

男子留学生：ああ。ある会社の社員寮に決まったんだ。

女子学生：会社の社員寮？ 留学生にも貸してくれるの。

男子留学生：うん。

女子学生：へえ。でも、まわりはみんなその会社の人でしょう。寂しくない？

男子留学生：別に。友だちとは大学で会えるからね。それより、僕には、日本人は朝早くから夜遅くまで働いているっていうイメージがあるんだけど、実際はどうなのか近くで見られるだろうと思って、楽しみなんだ。

女子学生：確かに、そういう機会ってあまりないよね。それに、学生じゃない人とも知り合えて、いいかもしれないね。

この男子留学生は新しい引っ越し先のどんな点がいいと言っていますか。

1. 大学とは違った友人ができる点
2. そこで働きながら安く住める点
3. 働いている日本人の生活を知ることができる点
4. 日本語で交流するチャンスが増える点

Track 9

4番 男子学生と女子学生が電話で話しています。この女子学生が男子学生に頼まれたことは何ですか。

男子学生：あ、もしもし、山本さん？

女子学生：あ、太田くん、おはよう。どうしたの、こんなに朝早く。

男子学生：実は、昨日から熱が出ちゃって……。今日はゼミの発表だったんだけど、それも行けそうにないんだ。

女子学生：え、大丈夫？ じゃあ、ゼミの先生には私が話しておくから。

男子学生：あ、いや、それはさっき先生に電話しておいたから。発表は来週にまわしてくれるって。

女子学生：そう。

男子学生：それで、今日の経済学の授業なんだけど。

女子学生：3限の？ あ、もしかして、プリントのこと？

男子学生：うん。あの授業はいつもプリントが配られるから、僕の分もとっといてくれる？

女子学生：わかった。授業の内容も、あとで教えてあげる。

この女子学生が男子学生に頼まれたことは何ですか。

1. 病気のことをゼミの先生に伝えること

2. ゼミの発表を代わりにすること
3. 授業のプリントをとっておくこと
4. 授業の内容をあとで教えること

Track 10

5番 先生が、読書について話しています。この先生は、読書をするときはどんなふうに読むことが大事だと言っていますか。

読書をするときには、先入観を捨てて本と向き合いましょう。例えば、本に自分がよく知っていることが書かれていると、その本は自分の考えと同じ意見で書かれていると思ってしまいがちです。このような思い込みがあると、筆者がどのような考え方を持っているのかを理解しようとしなくなってしまったり、自分の考えにひきつけて人の考えを曲げてしまったり、ということが起こるのです。そして、筆者の主張がわからなくなってしまいます。

この先生は、読書をするときはどんなふうに読むことが大事だと言っていますか。

1. 自分の知識や経験を生かして読むこと
2. 先入観や思い込みを捨てて読むこと
3. 筆者の考えに同意しながら読むこと
4. 筆者の意見を自分なりに解釈して読むこと

Track 11

6番 日本語のスピーチ大会で留学生がスピーチをしています。この留学生の言いたいことは何ですか。

よく何事も経験が必要だと言われますが、経験するだけでいいのでしょうか。視野を広げるのが目的で海外に行き、ほんの少し嫌な目にあうとその国のこと嫌いになったり、自分の国が一番いいと思ったりする人がいるようです。これはせっかくの経験が生かされず、とても残念なことです。そうなってしまうのは、その国のことよく知らないからです。もしその国について少しでも勉強していれば、自分の国とは違うことが起きたとき「そうそう、この国ではこうする」と、違いを楽しむ余裕が出ます。ですから、何も知らずに経験するのではなく、知識の確認をしながらの経験こそが人間を大きくするのだと思います。

この留学生の言いたいことは何ですか。

1. どんなことでも経験することが重要だ。
2. 海外旅行をすると視野を広げることができる。
3. 海外に行って嫌な経験をすることも大切だ。
4. 経験する前に勉強しておくことが必要だ。

(Track 12)

7番 研究者が新しく改良されたプラスチックについて話しています。新しいプラスチックが従来のプラスチックよりも優れている点は何だと言っていますか。

石油からつくられるプラスチックは、軽くて丈夫。おまけに透明の具合や柔らかさをいろいろ変えることができますので、ビニール袋など、多くのものに利用されています。しかし、木や紙とは違い、土のなかで分解されずにいつまでも残ってしまうという難点があります。そこで近年、この点を改良した、新しいプラスチックが作られています。新しいプラスチックは、トウモロコシや植物のでんぶんなどを原料としていて、土の中に埋めておくと微生物によって分解されるという特徴をもっています。ただし、従来のプラスチックに比べると、一般に耐久性の点で劣ります。ですから、耐久性を増すためには、何らかの技術的な工夫が必要とされます。

新しいプラスチックが従来のプラスチックよりも優れている点は何だと言っていますか。

1. 軽い点
2. 微生物によって分解される点
3. 用途が多様である点
4. 耐久性が高い点

(Track 13)

8番 男子学生と女子学生がコミュニケーション能力について議論しています。男子学生は、さらに何が必要だと言っていますか。

男子学生：最近、学校教育で、コミュニケーション能力が注目されてるよね。

女子学生：今まで知識を覚えさせることばかりやっていた反動じゃないかな。

男子学生：新聞に、これからは学校で、スピーチの技術を高めることにも力を入れるって書いてあったよ。なんかおかしくない？

女子学生：そう？ 必要なんじゃないの？ 自分の考えていることを相手にわかってもらうっていうのは。

男子学生：でもスピーチってのは、一方通行のものでしょ。意見交換みたいに、双方のやりとりを伴うものも必要だよ。なのに、一方的に自分の意見を主張する技術ばかり注目されてる。

女子学生：そうか、スピーチだけじゃ足りないのね。

男子学生は、さらに何が必要だと言っていますか。

1. 知識を覚えること
2. スピーチの技術をみがくこと
3. 一方的に自分の意見を主張すること
4. お互いに話のやりとりをすること

Track 14

9番 中古自動車を輸出する会社の経営者が、講演会で話しています。この人は、会社を成功させるためにどんなことをしましたか。

前の仕事をしていたとき、まだまだ使えそうな車が廃棄のために業者に引き取られていくのを見て、どこかに販売できないかと考えました。私が今の会社を起きた当時は、中古車を扱う大手の輸出業者がいなかったので、新しい会社でも成功するチャンスがあると思ったんです。しかしそのためには、従来のやり方と同じことをやっていてはダメでしょう。そこで、客に実際に中古車を見せて品定めをしてもらうというスタイルを止めました。車の在庫を持たず、情報だけを提供することにしたのです。この方法だと、実物を仕入れに行ったり、客に海外からわざわざ車を見に来てもらったりしなくてもすむので、大量に販売することができるのではないかと考えたからです。

この人は、会社を成功させるためにどんなことをしましたか。

1. 中古車の販売方法を変えた。
2. 中古車の新しい需要をさがしました。
3. 客のニーズを細かく調査した。
4. 客に実物を見てもらうようにした。

Track 15

10番 先生が体内時計について話しています。この先生は、体内時計と実際の時間のズレを直すにはどうすることが最も重要だと言っていますか。

人間の体内にあって、生活のリズムを刻む時計を体内時計といいます。この時計はなぜ

か25時間周期で、実際の1日、24時間より1時間長いんです。これで困るのは体内時計と実際の時間のズレが蓄積すると、実際の生活時間のリズムが狂ってしまうことです。ですから、毎日時間のズレを直して、体を実際の時間に合わせなければなりません。それには、朝食を食べたり、軽く体を動かしたりするのもいいんですが、しっかり朝日を浴びることほど効果的なことはありません。その後に簡単な運動をするとか、シャワーを浴びたりすると、気持ちよく目覚めることができます。

この先生は、体内時計と実際の時間のズレを直すにはどうすることが最も重要だと言っていますか。

1. ご飯を食べる。
2. 体を動かす。
3. 日光を浴びる。
4. シャワーを浴びる。

Track 16

11番 料理の専門家が、テレビで、子供の食生活について話しています。

この専門家は、子供たちの食生活を改善するために、どんなことをしていますか。

現在の日本では、成長期の子どもが、好きな物ばかり食べ続け、栄養が偏ってしまうということが起こっています。このような子どもたちの食生活を改善することが重要ですが、「栄養を考えて食べなさい」と口で言うだけでは、子供たちにはあまりピンとこないようです。

そこで私は、子どもたち向けの料理教室を開くことにしました。どんな食品を組み合わせれば栄養のバランスを取ることができるのかといったことを、料理をすることや実際の食事を通して、子どもたち自身が学んでいく必要があると考えています。

この専門家は、子供たちの食生活を改善するために、どんなことをしていますか。

1. 加工した食品を食べさせないようにしている。
2. 不足している栄養を補う食品を食べさせている。
3. 栄養のバランスをとるように言い聞かせている。
4. 栄養の取り方を体験から学ばせている。

12番 女子学生が、講義で困っていることについて先輩の男子学生に相談しています。

この男子学生が言いたいことは何ですか。

女子学生：先輩、今、講義で困っていることがあるんです。

男子学生：どうしたの？

女子学生：専門用語の定義は教科書に書いてあるんですけど、先生はどうやら教科書に書いてあるのとは違う意味で用語を使ってらっしゃるみたいなんです。

男子学生：ああ、そういうことってあるよね。

女子学生：私がよく理解できてないのか、先生が間違ってるのか、よくわからなくて……。

男子学生：同じ用語が、研究者によって違う意味で使われるっていうのはよくあることだよ。だから、先生が間違ってるっていうことではないと思うよ。まずは先生にその用語をどういう定義で使っているのか確認してみたらどうかな。

この男子学生が言いたいことは何ですか。

1. 先生の定義に従うべきだ。
2. 教科書の定義に従うべきだ。
3. 用語の定義は一つとは限らない。
4. 一見異なる定義も実は同じだ。

13番 女性と男性が、道路のアスファルトについて話しています。

この道路の温度が高くならないのは、なぜですか。

女性：見て、この表示。道路を涼しいアスファルトに変えました、だって。

男性：ああ、それは新しいタイプのアスファルトのことだよ。水分を吸収して長い間保てる素材が混ぜてあるんだ。

女性：それが、どうして、涼しいアスファルトになるの。

男性：例えば、雨が降るとするね。すると、その素材が水分を吸収する。そして、その水分が蒸発する時にアスファルトの熱を奪う。それで、道路の表面温度を下げられるってわけさ。

女性：じゃあ、土と同じようなものね。長い間って、どのくらい？

男性：一週間たっても6度から8度くらいは温度を下げた状態にしておけるらしいよ。

女性：へえー、すごいねえ。

この道路の温度が高くならないのは、なぜですか。

1. アスファルトが水で直接冷やされるから
2. アスファルトに特別な水が混ぜてあるから
3. アスファルトの中で水が循環しているから
4. アスファルトに水分を吸収する素材が入れてあるから

Track 19

14番 女子学生が、ボランティアをした体験についてスピーチをしています。

この女子学生は、病院のボランティアをしてどんなことに気づいたと言っていますか。

私はこの夏休みに、病院でボランティアをしました。担当したのは、ワゴンに本を積んで、病院内を回って本を貸し出す仕事でした。実際にやってみると、入院患者さんたちだけでなく、その家族の方々にもけっこう利用されていることがわかりました。ある方は病人にずっと付き添っていて本を買いに行く時間がなかったので、こうして借りられるのが嬉しい、とおっしゃっていました。それから、病院のスタッフからは、私たちのようなボランティアが加わったことで、良い意味での緊張感が生まれ、活気が出てよかったです、と言われました。ボランティアをやる前は、入院患者の方々の役に立てたらいいなと漠然と思っていたのですが、患者さんのご家族や病院のスタッフに対しても重要な役割を果たしたのだということがわかりました。

この女子学生は、病院のボランティアをしてどんなことに気づいたと言っていますか。

1. ボランティアは患者に本を届ける仕事しか任されていないということ
2. ボランティアは患者の周辺にいる人にも役に立つ存在だということ
3. 患者の家族の仕事を手伝うのもボランティアの役目だということ
4. ボランティアは病院関係者にかなり負担をかけているということ

Track 20

15番 先生が、授業で行ったディベートの感想文について話をしています。次回は、ディベートのやり方をどのように変えますか。

一回目のディベートについて、皆さんの感想文を拝見しました。ディベートでは、決められた論題について、自分の意見とは無関係に、賛成か反対かどちらかの側に立ってその立場の正しさを証明しなければなりませんが、多くの人がこれには抵抗感があったようですね。でも、これはディベートの根本ルールですから、変えようがありません。次に多かっ

たのは、自分が意見を述べるとき、対戦相手ではなく、審判員たちに顔を向けて話さなければならぬのは、やりにくいという声でした。ディベートは相手を言い負かすゲームではなく、聞いている審判員が勝敗を決めるからなのだとということを、皆さんよくわかっているようですが、やはりこの点はまだ難しいようです。そこで、次回は、相手方を見て話すことにしましょう。ただし、ディベートの目的は、審判員を説得することだということは忘れないようにしてください。

次回は、ディベートのやり方をどのように変えますか。

1. 自分の意見と関係のあることを述べる。
2. 賛成か反対かどちらかの側に立って話す。
3. 対戦相手の方を見て話す。
4. 審判員を説得する。

Track 21

16番 先生がバリアフリーについて話しています。この先生は、今後どんなことが大切だと言っていますか。

車椅子に乗っている人から「混雑した電車に乘ろうとすると、周りの視線が冷たい」という感想を聞いたことがありますか、みなさんはどう思いますか。

日本でバリアフリーに関する法律が制定された結果、ハード面では、障害者とそうでない人とのバリア、つまり壁はなくなったように見えます。たしかに建築物の段差をなくしたり、誰にでも使いやすい商品を開発したりするといったことが進んできました。が、ソフト面、つまり障害者とそうでない人のコミュニケーションは決して十分とは言えません。

しかし最近は、学校で手話や盲導犬との接し方を教えるなど、障害者と接する機会を設けているところもあるようです。このような具体的な指導をすることが、これからはますます重要になっていくでしょう。

この先生は、今後どんなことが大切だと言っていますか。

1. バリアフリーを実現するための法律を整備すること
2. どんな人でも利用しやすい建物を建てること
3. 誰にでも使いやすい商品を開発すること
4. 障害者に対する理解を促進すること

17番 アナウンサーが動物園の園長にインタビューをしています。この園長は、この動物園の人気の理由は何だと言っていますか。

アナウンサー：今年、こちらの動物園は入園者数が日本一になったそうですね。その人気の秘密をぜひ教えてください。

園長：私どもは、数年前から、お客様には動物本来の行動をお見せしようという方針をとることにしたのですが、それが受け入れられたからだと思います。その方針にしたがって、従来の施設を、動物達ができるだけ自然に近い状態でいられる形に大きく造り変えたんです。

アナ：そうなんですか。では、具体的にどのようにされたのですか。

園長：例えば、ペンギンは泳ぐようすを水中トンネルから見られようにしました。それからホッキョクグマは、間近に歩き回る姿をドームの窓から見られるようにしました。

この園長は、この動物園の人気の理由は何だと言っていますか。

1. 動物たちの自然な行動が観察できること
2. 動物たちと直接触れ合うことができること
3. 動物たちのいる施設が新しくきれいになったこと
4. お客様に人気がある動物たちを集めていること

18番 経営学の先生が、ある会社のビジネスを授業で紹介しています。この先生が、そのビジネスについて最も評価していることは何ですか。

ビルのオーナーが、トイレの設備を新しくしたいと思っても、工事費用の面でなかなか難しいことがよくあるのですが、ここに目をつけた企業が話題を呼んでいます。この企業は、従来のものより4割から5割くらいの水を節約できるトイレを開発しましたが、水道料金を節約できた分のお金で工事代金を払えるという形で販売を行っています。しかも、工事の後の定期的な点検や、節水の効果を保証するサービスを実施することで、顧客が安心して工事に踏み切れるようにしているのです。このビジネスの特徴として、二つのことが考えられます。一つは、お金がなくても商品が買えるということ、もう一つは、商品と商品購入後のサービスをセットにし、安心して買える仕組みを作ったということです。

この先生が、そのビジネスについて最も評価していることは何ですか。

1. 高い節水効果のある商品を開発したこと

2. 商品を製造するコストを減らしたこと
3. 利用客を多く獲得したこと
4. 買いやすい仕組みを作ったこと

Track 24

19番 記者がロボットの研究者に質問しています。この研究者は、企業がお金のかかるロボット開発に取り組む理由は何だと言っていますか。

記者：日本のロボット技術は、高い評価を受けていますね。最近は大学だけでなく、企業も力を入れているそうですが、それは、利益が見込まれる魅力的なビジネスだからでしょうか。

研究者：たしかに、ロボット市場は今後、ますます大きくなると期待されています。でも、ロボット開発には、莫大なお金がかかりますから、儲かるかどうかは難しいところで、リスクの大きいビジネスだと言えるでしょう。

記者：では、利益が得られなくても開発をしているということですか。

研究者：いえ、実は、企業はロボット開発の過程で生み出される数々の新しい技術に注目しているんですね。つまり、そこで開発した技術がロボット以外に応用できるということです。そういう意味では、必ずしもロボットの販売で採算をとらなくてもいいわけです。

この研究者は、企業がお金のかかるロボット開発に取り組む理由は何だと言っていますか。

1. ロボット開発の技術を他の製品に役立てられるから。
2. ロボット市場が拡大しつつあり、大きな利益が見込まれるから。
3. 高度な技術を開発することで、世界をリードできるから。
4. ロボットの開発費用は莫大なものだと覚悟しているから。

Track 25

20番 先生が、ある植物を二つの環境で育てた実験について話しています。先生の説明から、この植物が花を咲かせるのに必要な条件は何だと考えられますか。

花の咲く時期は、春だったり秋だったり、植物によって決まっています。植物は、どうやって季節を知るのでしょうか。それを調べるために、秋に花を咲かせるある植物を二つの異なる環境で育ててみました。実験時期は夏です。

まず、一つめは、午前9時から午後4時までの7時間、太陽の光に当て、その他の時間は箱に入れました。箱には、光は入りませんが空気は通るので、箱の中の温度は外部とほ

とんど変わりません。一方、二つめは、箱は使わずふつうに育てました。夏ですから、日照時間は14時間近くありました。

この実験の結果、箱に入れたほうが入れないほうよりも一ヶ月以上も早く花を咲かせました。

先生の説明から、この植物が花を咲かせるのに必要な条件は何だと考えられますか。

1. 光の強さが一定に保たれること
2. 風通しのいい環境にあること
3. 光の当たる時間が短くなること
4. 温度が一定に保たれること

● 聴読解問題スクリプト

Track 28

練習 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

Track 30

1番 男子学生と女子学生が掲示板を見ながらインターンシップについて話しています。
この女子学生はどこに申し込むことにしましたか。

男子学生：この、インターンシップって、会社で働く経験ができるんだっけ。

女子学生：うん。将来の仕事を見つけるのにも役立ちそうだし、今年は申し込むつもりなんだ。

男子学生：あ、もしかしたら、ここ？ 知的所有権が卒論のテーマだし。

女子学生：ううん。インターンシップでは別のことしたいなあって思って、いろいろ考えているところ。

男子学生：ふうん。

女子学生：ねえ、この販売促進ってどんなことするのかな。

男子学生：住宅の会社だから、家のパンフレットとかポスターなんか作るんじゃない？

女子学生：へえ、おもしろそう。8月はだめだけど7月下旬なら大丈夫だから、これにしよう。

Track 31

2番 女子学生と男子学生がノートテイカー募集の案内を見ながら話しています。この女子学生が申し込むとき特別にすることは何ですか。

女子学生：あ、また「ノートテイカー」募集してる。

男子学生：「ノートテイカー」って？

女子学生：今、うちの学生の中に耳の不自由な人がいて、その人の出る授業に一緒に出て、先生が話していることを隣でノートに書いてあげるの。

男子学生：へえ。

女子学生：去年も募集してて、私、講習会まで受講したんだけど、その後授業時間が合わなくなっちゃってできなかつたんだ。今回はいつかなあ？

男子学生：ええと……火曜日の3時限目だって。

女子学生：ああ、そうだね。私、その時間なら授業ないし、今度はできそう。
ねえ、一緒にやらない？

男子学生：ほかの人のためにノートをとるなんて自信ないよ。

女子学生：講習会でノートテイクのポイント、教えてもらえるから大丈夫。

男子学生：でも15日ってサークルの会議だろ？ 講習会には出られないよ。

女子学生：ああ、そっか。じゃあ私一人で申し込むか。

男子学生：え？ サークルの会議は出ないの？

女子学生：出るよ。講習会出なくともいいみたいだから。

Track 32

3番 女子学生と男子学生が、女子学生の作成したアンケート用紙について話しています。女子学生はこのあと、どの部分を修正しますか。

女子学生：ねえ、これ、経営学のレポートで使うアンケートなんだけど。

男子学生：どれ……へえ、外食についてか。

女子学生：うん、これ、どうかな。

男子学生：アンケートって、選択肢で選べるようにしたほうが、答えやすいんじゃないかな。ほら、こういう個人的な情報って、正確には書きにくいと思うよ。

女子学生：そうねえ、でも、世代の違いってのは重要な要因だと思うんだ。だから、正確な数字を書いてもらいたくって。

男子学生：じゃ、「よく利用する店」については？

女子学生：これもねえ、たぶんぜんぜん想像してなかつたような回答があるかもしれないから、店の名前まで書いてもらいたいんだ。

男子学生：そうか……。あ、でもここはさ、ちょっと答えににくいんじゃないかなあ。ここって、なぜ外食するかを書くの？ それとも、なぜ外食しないのかを書くの？

女子学生：あ、確かにそうね。じゃ、ここは分けることにしよう。

Track 33

4番 女子学生と男子学生が掲示板を見ながら、スピーチ大会について話しています。この男子学生はどのスピーチ大会に参加しますか。

女子学生：わあ、いろいろなスピーチ大会があるわね。

男子学生：そうだね。4月だからね。今年はぜひスピーチ大会に挑戦しようと思ってるんだ。

女子学生：そう、すごい。ねえ、どれに申し込むの？

男子学生：うん、僕は環境研究会に入っていて週末はたいてい調査に出かけたり、環境保護団体の話を聞きに行ったりしてるから……。

女子学生：へえ、がんばってるんだね。

男子学生：うん、だから、これか、これだな……。うーん、早いほうにしよう。締切りまであと1か月か。よし、頑張るぞ。

(Track 34)

5番 男性と女性がアンケート結果を見ながら話しています。この男性は、グラフの中のどの項目の数字について、今後増える可能性があると言っていますか。

男性：見て、日本の交通について海外から来た観光客にアンケートした結果だって。

女性：へえ、「主な交通機関に対する評価」ねえ。

男性：うん、旅行中に利用した交通機関とそれに対する評価。やっぱり地下鉄の利用は多いね。

女性：都市では便利だからね。あれ？ タクシーはあまり利用されないと思ってたけど結構利用してるね。

男性：うん、4割ぐらい。

女性：プラス評価は思ったより少ないわね。料金が高いからかな。

男性：んー、ぼくは言葉の問題が一番大きいと思うよ。

女性：ああ、そうか。新幹線でも地下鉄でも、切符さえ買えばあとはしゃべらなくてもいいもの。

男性：だから、その点をどうにかすれば、きっと評価もよくなるよ。

女性：まあ、簡単じゃないでしょうけどね。

(Track 35)

6番 本屋で学生が店員と話しています。店員はこの学生にどの本を薦めますか。

学生：すみません、パソコンの本探してるんですけど……。

店員：はい、どのような本をお探しでしょうか。

学生：どのような……えーっ……。

店員：あのう、失礼ですが、パソコンは使い始めたばかりでいらっしゃいますか？

学生：ええ、まあ……。でも、基本的なことは一通りできると思います。

店員：それでは、もっと高度な使い方について書いた本をお探しでしょうか。

学生：高度な使い方って？

店員：写真をパソコンで管理したり、音楽を聴いたりとか……。

学生：いえ、そういうのじゃなくて、例えば画面がフリーズした場合とか、ウィルスに感染した場合とか、何か問題が起きたときの対処法について知りたいんですけど。

店員：それなら、こちらなどいかがでしょうか。

Track 36

7番 男子学生と女子学生が食生活と環境についての資料を見ながら話しています。この二人が話していることに最も関係が深いのは、資料の中のどの項目ですか。

男子学生：先週、食品と環境の関係について教わったんだけど面白かったよ。「フード・マイレージ」って知ってる？

女子学生：何、それ。

男子学生：フード・マイレージっていうのは、国の食品の輸入量と、その国からその食品を輸出している国までの距離を掛け合わせたものの合計なんだ。

女子学生：ふーん。

男子学生：ほら、日本は食料品を外国からたくさん輸入してるだろ？だから、日本のフード・マイレージは高くて、運搬の面ではかなり地球に負担をかけてるみたい。

女子学生：だったら近い場所の食品を食べた方が、環境への負荷は少ないのでね。

男子学生：そう、環境にいいと思って無農薬の野菜を買ってたけど、それだけじゃだめなことがわかったよ。

女子学生：うん。そうだね。

Track 37

8番 大学研究室に送られてきたFAXの文書を見ながら、助手が先生に電話をしています。この先生はあることを思い違いしていたようです。思い違いの内容はどれですか。

助手：あ、もしもし、木村先生でいらっしゃいますか。

教授：あ、松田君？

助手：はい。研究室に、東亜大学からFAXが入ったんですが……。

教授：あ、そう。5日の講演の件だろう。

助手：はい、そうなんですが、確認ということで、時間とかいろいろ書いてありますけど。

教授：とにかく、4時までに講演会場へ直接行けばいいんだろう。

助手：えーと、そうではないようです。

教授：え、何て書いてあるの？

助手：はい、じゃ、今から読みますので

(Track 38)

9番 女子学生が資料をもとに「大学生のおしゃべり」について発表しています。このあと、この女子学生はどの項目について詳しく話すと言っていますか。

資料1を見てください。これは女子学生に対し、おしゃべりにどんな効用があるか、という質問をし、その答えを集計したものです。

これを見ると、おしゃべりは人間同士のネットワークを広げるのに役に立つ、と考えられているようです。例えば、人と仲良くなったり、情報や知識の交換をしたりできる、というような回答からそれがわかります。

それから、おしゃべりによって自分のことがわかる、という意味の回答も、かなりありました。これは具体的にどういうことなのでしょうか。今日はこの点に絞って、いろいろ考察を深めていきたいと思います。

(Track 39)

10番 ある会社の人が、自社の農業機械の生産高がどのように変化してきたかについて説明しています。この説明の内容をグラフで表すとどのようにになりますか。

日本では戦後、若者が農業から離れていったために、農家に人手が足りなくなってきたました。そういうこともあって、日本の農業はしだいに機械化されてきました。私どもの会社の農業機械製品は、1970年代後半から80年代後半にかけて急速に生産高を伸ばしてきましたが、その後95年ごろまでいったんは減少傾向に転じました。しかしそれわれわれの研究開発の努力が効を奏して、90年代後半には再び生産高が上向きになり、2000年には90年の水準にまで戻りました。

(Track 40)

11番 先生がマーケティング論の講義で「地域ブランド」について説明しています。

この先生は、資料の中でどの項目がいちばん重要だと言っていますか。

「地域ブランド」というと、ある商品にそれを生産する地域の名前を付けて売り出すこ

どのように思われているかもしれません、実はそうではありません。商品が、その地域のイメージを向上させ、地域を活性化することにつながなければ、眞の「地域ブランド」とは言えません。

先週は、地域ブランドを立ち上げる際に留意すべきこととして、資料にあげた各項目についてお話ししましたが、私はその中でも、ブランドの目標設定、ということが何より大切だと思っています。単に、良い製品を作ろう、というような漠然とした目標ではなく、その地域の特性をとらえ、それとうまく関連付けられるような形で商品の特徴づけをおこない、それを実現していく、ということです。消費者から、他の地域のものとはちがう、あるいは優れている、という評価が得られてこそ、地域ブランドを立ち上げる意味が生じるのです。

Track 41

12番 先生が、ある植物の種の発芽実験について説明しています。先生がこのあと言おうとしていることは何ですか。

このグラフは、シバという植物の種の発芽についての実験結果です。実験では、2種類のシバの種を、暗いモミの林と明るいスキの群落の2カ所にまきました。2種類の種のことを、ここで仮に「種①」と「種②」としましょう。種①は、動物にいったん食べられ、糞の中から回収された種、種②というのは、何の処理もしていない普通の種です。グラフのdの線を見てください。モミの林にまいた種②は全く発芽していません。もっとも発芽率が高かったのはaの線、つまり、スキの群落にまいた種①です。全体的に見ても、暗いモミ林より明るいスキ群落にまいた種のほうが、発芽率が高くなっています。ここから、発芽には光が関係しているようだということがわかりますね。では、種がまかれた場所が同じであれば、種①、種②のどちらが発芽しやすいか見てみましょう。グラフから考えると、次のようなことが言えるのではないかでしょうか……。

Track 42

13番 先生が講義で運動を上達させる方法について話しています。この先生は今、どのポイントについて話していますか。

スポーツは、やみくもに実践練習をしたり、体に動きを覚え込ませたりすることだけが大事なわけではありません。直接そのスポーツをしないで体の動かし方を、頭で思い描くことも重要です。運動をしている自分から一歩離れ、動きを頭の中で想像するような感じですね。それが、さらなる上達に結びつくのです。

14番 先生がNPOの定義について、資料を見せながら説明しています。この表の3行目には、どのような組み合わせで○と×が入りますか。

NPOとは、Non-Profit Organizationの略で、営利を目的としない「非営利」組織のことですが、定義をあいまいにしている人が多いので、確認しておきましょう。

まずその組織が、お金儲けを目的としない、ということが第一の条件です。次に「民間」の組織であること、つまり税金によって運営されているのではない、ということが必要です。第三に、特定のメンバーではなく、世の中の広い範囲の人々が利益を得ることに貢献しなければならない、という条件があります。

そこで、いろいろな団体がNPOにあたるかどうかを、次の表によって確認してみましょう。まず、会社はお金儲けを目的としていますし、特定のメンバーが利益を得るのでNPOではありません。また地方公共団体は、非営利の組織ですが、税金によって運営されていますから、NPOには含まれません。では、表の3行目に「同窓会」と記入してください。同じ学校を卒業した人々の交流のために作る組織ですね。同窓会は、NPOにあたるでしょうか。

15番 心理学の授業で、男子学生がストレスについて調べたことを発表しています。この男子学生が挙げた例は、資料の中のどの部分にあたりますか。

ストレスの原因になる出来事を「ストレッサー」と言うのですが、その受け入れ方によってストレスの反応が異なるそうです。身近な例を紹介します。一般に大学入試というものは、心理学的にはストレッサーの一つであると考えられます。けれども僕自身は、受験勉強は友だちと励ましあいながらしていましたし、何よりも大学生活に希望を持っていたので、ストレスはそれほど感じていなかったと思います。

このようにストレッサーの受け入れ方次第では、ストレスをプラスに反応させることができます。ストレスのしくみを知っておけば、ストレスとうまくつきあうことができると思います。

16番 先生が、ある陸上選手の100メートル走の走り方について分析して説明しています。先生は、この選手が後半減速しないためにはどうしたらいいと言っていますか。

このグラフは、ある陸上の選手が100メートル走るとき、走るスピードがどのように変

化していくかを表したものです。近年では、1回1回の走りをこのように曲線で表し、分析することによって、その選手のより理想的な走りを追求することができるようになりました。

この選手の場合、最高速度が秒速12メートル近くにもなるのですが、後半で減速はじめるのが早いため、記録が伸びないというのが悩みです。グラフを見ると加速が急で、60メートルの地点で既に最高速度に達してしまっているのが分かります。ですからスタート時に急な加速をせず、最高速度をもう少し後ろの位置で出せるように走ることが課題でしょう。

Track 46

17番 授業で、先生が情報のデジタル化について話しています。この先生が挙げる「デジタル化の問題点」は、資料のどの点と関連していますか。

えー、デジタル化された情報というのは、すべて数値に置き換えられており、コンピューターによる処理が非常にしやすくなっています。そのため情報に手を加え、新しい情報として再び配布する、ということが簡単にできます。

このように情報の加工が簡単にできるようになりますと、その一方ではもともとの情報が誰に属する情報だったのか、分からなくなるということが起きます。また、情報が際限なく流通していくことで、情報の一部だけが一人歩きをして、思わぬ問題を起こすといったことも出てくるわけです。このようなことがデジタル化の問題点と言えるでしょう。

Track 47

18番 先生が、社員に対する賃金の決め方について話しています。この先生が最後に紹介する企業の例は、図のどの部分に位置しますか。

企業が社員に払う賃金の額を決めるには、二つの評価軸があります。一つめは、図の縦軸です。社員が実際にあげた業績や成果、つまり表にあらわれた能力によって賃金を決めるのか、あるいは、身に付けていると考えられる能力によって決めるのか、という軸です。実際の業績によって賃金が決まるのであれば、図の上半分に位置することになりますし、現在の業績は少なくとも、例えば何か資格をもっていて、高い能力が期待できる社員には多く賃金を払うというのなら、図の下半分になります。

二つめは、図の横軸です。社員の集団的属性、つまり、性別とか年齢のようなもので決めるのか、あるいは社員個人の能力や仕事ぶりで決めるのか、という軸です。

私が先日訪れた企業では、毎年一人一人の社員に対する能力審査が行なわれ、それによって賃金が決められていました。しかしその審査は、その年の業績によって行われるという

よりも、例えば何か新しい資格をとったか、というようなことが考慮されているようでした。

Track 48

19番 異文化コミュニケーション学の授業で、先生が人と人の間の距離について話しています。この先生は、この話に続けてどのようなことを言いますか。

私たちは、話をする相手との間に物理的に一定の距離を保っていますが、適当な距離の決定には、自分と相手の関係やどんな場面であるかということが関係します。

エドワード・ホールという文化人類学者は、対人関係を4つに区分し、この区分と実際の空間的距離との間には相関があると考えました。資料に示したのが、それぞれの距離区分の特徴と、北米における距離の実測値です。つまり北米の人々が、たとえば一般的な会話を行なうときは、おおむね1メートル半から3メートル半くらいの距離をとる、ということですね。

ただこの距離は、あくまで北米においての実測値であり、日本で調査すれば、当然違った値が得られるものと思われます。そこでこの授業では次のようなことをしようと思っています。

Track 49

20番 先生が生物学の授業で生存曲線について説明したあと、学生に質問します。学生はこの質問に何と答えればいいですか。

「生存曲線」というのは、ある生物が一生のどの段階でどのぐらい生き残っているかという割合をグラフにしたもので。図1を見てください。例えばヒトは、親によって保護されて育ち、また天敵もいないため、かなりの個体が高齢まで生き続けます。このためCのような曲線になります。一方チョウや魚などは、親は卵を産むだけで何の世話をしないので、大多数が幼いうちに死んでしまい、Aのような形になります。

さて、ミツバチはどうでしょう。ミツバチは大きな巣をつくり、その中で多数の個体が社会生活をしています。幼虫は成虫に守られて育ちますから、幼虫の時の死亡率は鳥などと比べても低めになりますが、当然天敵はいますので、ヒトのような生存曲線にはなりません。

そこで、皆さんちょっと考えてみてください。ミツバチの生存曲線は、図2の中のどれだと思いますか。

平成18年度(2006年度)日本留学試験(第1回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記述 問題解答例を313ページに掲載

読解

解答欄	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
正解	4	3	2	2	2	1	3	1	2	3	4	2	4	1	3	2

解答欄	問17	問18	問19	問20
-----	-----	-----	-----	-----

正解	3	2	3	3
----	---	---	---	---

聴解

解答欄	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
正解	1	2	3	3	2	4	2	4	1	3	4	3	4	2	3	4

解答欄	問17	問18	問19	問20
-----	-----	-----	-----	-----

正解	1	4	1	3
----	---	---	---	---

聴読解

解答欄	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
正解	4	4	3	3	4	4	2	3	4	1	2	1	2	2	3	1

解答欄	問17	問18	問19	問20
-----	-----	-----	-----	-----

正解	4	4	1	3
----	---	---	---	---

「記述」問題解答例

①

Aには、家庭ごとの経済的な差が出にくい、という良い点がある。学校が全員に同じ食べ物を用意すれば、子どもは、自分の食べ物を他人と比べることなく、安心して昼ごはんが食べられると思う。また、一度にたくさんの料理を作るので、同じものをそれぞれの家庭で別々に作るのに比べ、材料費もあまりかからないだろう。

一方、Bには、一人一人の事情に合わせやすい、という良い点がある。特に、特定の食物にアレルギーを持つ子どもにとって、Aでは都合が悪いこともあるかもしれない。しかし、そういう場合には、弁当を持ってくることを認めればいいのである。違うものを食べている子どもがいても、そのような理由があるなら、みんな納得するだろう。

したがって、基本的にはAのやり方をとり、何か問題があれば個別に対応する、というやり方が最も現実的だと思う。

②

政治家は、年をとったというだけの理由で辞める必要はない。政治には、高齢者の力も若者之力も、ともに必要だと考えるからだ。

若い政治家には、従来の慣習にとらわれない柔軟な発想が期待でき、それも政治には不可欠なことである。しかし、政治家の仕事は、新しい考えを示すことだけではない。その考えを実現させるためには、対立する立場の人にも十分な説明や説得をする必要がある。そういう時には、高齢の政治家の深い知恵と、粘り強い交渉力が役に立つだろう。要するに、若者にも高齢者にもそれぞれの価値がある。重要なことは、若い政治家と高齢の政治家とが、お互いのよさを生かしながら協力し合えるようにすることだと思う。

高齢の政治家がいなくなることは、若い政治家がいなくなることと同じくらいよいことだ。年をとったという理由で政治家をやめてもらおうというのは、あまりに単純な意見だと言えるだろう。

「記述」採点基準

「記述」の採点に当たっては、文法的能力及び論理的能力のそれぞれについて、以下の基準に基づき採点し、その合計点（0～6点）を表示する。

（1）文法的能力（0～3点）

- 個々の文についても、文章全体についても、執筆者の意図が明快に理解可能であるもの（文法・表記上の軽微な誤りや文体上やや不自然な点は許容する。） 3点
- 文法・表記上明らかに適切でない点を含むが、文章全体から執筆者の意図は明快に理解可能であるもの 2点
- 文法・表記上明らかに適切でない点がかなり目立つが、文章全体から執筆者の意図を想像することは可能であるもの 1点
- 意味不明の文が多く、文章全体から執筆者の意図を理解することが不可能又は極めて困難なもの 0点

（2）論理的能力（0～3点）

- 主張に根拠が示されており、かつ、主張と根拠との間に十分な論理的関係があり、矛盾が認められないもの 3点
- 主張に根拠が示されており、概ね論理的な関係が認められるが、一部に論理的矛盾や非整合性も存在するもの 2点
- 主張は示されているが、その根拠が示されていない、又は、根拠が示されていても、論理性・客觀性を著しく欠いているもの 1点
- 筆者自身の主張が示されていない、又は、何を主張したか曖昧であるもの 0点